

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第28期第1四半期（自平成23年9月1日至平成23年11月30日）
【会社名】	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
【英訳名】	ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 修逸
【本店の所在の場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 中山 浩之
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084) 945 - 1359
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 中山 浩之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第1四半期連結 累計期間	第28期 第1四半期連結 累計期間	第27期
会計期間	自平成22年9月1日 至平成22年11月30日	自平成23年9月1日 至平成23年11月30日	自平成22年9月1日 至平成23年8月31日
売上高(千円)	1,084,009	1,038,100	5,283,521
経常利益又は経常損失( ) (千円)	145,853	13,737	468,445
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )(千円)	48,255	22,874	364,456
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	36,313	18,131	323,521
純資産額(千円)	1,951,286	2,191,507	2,218,314
総資産額(千円)	5,128,893	5,257,887	5,297,406
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	5,621.53	2,664.75	42,457.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	36.9	40.8	40.9

注1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

- 第27期第1四半期連結累計期間及び第27期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。
- 第28期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式がないため記載していません。
- 売上高には、消費税等は含んでいません。
- 第27期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの早期復旧等に伴い、一部企業の生産活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧州における金融不安等による円高の進行や米国経済の回復の遅れにより、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、引き続きスマートフォンやタブレットPCなどの需要は拡大傾向にある一方、パソコン販売の低迷や液晶テレビ販売の落ち込み等により、半導体メモリや大型液晶パネルの価格が下落していることに伴い、各関連メーカーの多くに設備投資抑制の動きが見られました。

このような事業環境の中、当社等は、アジア地域を中心に、既存顧客へのフォロー及び幅広い顧客への製品PRを実施していくことに重点を置き、よりきめ細かい営業活動を展開したものの、売上高は弱含みで推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷等があったことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,038,100千円（前年同期比4.2%減少）、営業利益は6,337千円（前年同期比95.9%減少）、経常損失は13,737千円（前年同期は経常利益145,853千円）、四半期純損失は22,874千円（前年同期は四半期純利益48,255千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	1,084,009	1,038,100
売上総利益	436,270	287,609
営業利益	153,490	6,337
経常利益又は経常損失( )	145,853	13,737
四半期純利益又は四半期純損失( )	48,255	22,874

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンやタブレットPCなどの需要は拡大する一方で、パソコン等の激しい需要落ち込みに伴い、各関連メーカーで設備投資抑制の動きがあったことから、売上高は807,242千円（前年同期比14.3%減少）、営業利益は16,030千円（前年同期比90.5%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷等があったことで、売上高は230,857千円（前年同期比62.6%増加）、営業損失は8,944千円（前年同期は営業損失15,477千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	
	売上高	営業利益又は 営業損失( )	売上高	営業利益又は 営業損失( )
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
半導体・液晶関連事業(当社等)	942,013	169,572	807,242	16,030
研究機関・大学関連事業( I D X )	141,996	15,477	230,857	8,944
合計	1,084,009	154,094	1,038,100	7,086

注1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益又は営業損失( )は、各セグメントの営業利益又は営業損失( )を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd. 及び  
Hana Technology Co., Ltd. を表しております。

( I D X )

株式会社 I D X を表しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,257,887千円であり、前連結会計年度末と比較して39,519千円減少しております。

これは、受取手形及び売掛金の減少(370,571千円)、仕掛品の減少(96,060千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,066,380千円であり、前連結会計年度末と比較して12,712千円減少しております。

これは、買掛金の減少(41,143千円)及び短期借入金の減少(10,000千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,191,507千円であり、前連結会計年度末と比較して26,807千円減少しております。

これは、利益剰余金の減少(31,458千円)等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、78,041千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000
計	28,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年1月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,586	8,586	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	8,586	8,586		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年9月1日～ 平成23年11月30日		8,586		835,598		908,160

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 2	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,584	8,584	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	8,586	-	-
総株主の議決権	-	8,584	-

## 【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社アドテックプラズマテクノロジー	広島県福山市引野町五丁目6番10号	2		2	0.02
計	-	2		2	0.02

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,077	1,138,488
受取手形及び売掛金	1,456,815	1,086,244
製品	339,656	489,610
仕掛品	951,029	854,969
原材料及び貯蔵品	681,904	732,442
繰延税金資産	33,279	25,492
その他	115,246	93,376
貸倒引当金	3,176	3,176
流動資産合計	4,435,831	4,417,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,045,280	1,052,285
減価償却累計額	579,622	589,509
建物及び構築物(純額)	465,658	462,775
車両運搬具	17,417	17,417
減価償却累計額	10,301	11,042
車両運搬具(純額)	7,116	6,374
工具、器具及び備品	674,366	667,535
減価償却累計額	472,138	480,286
工具、器具及び備品(純額)	202,228	187,248
土地	65,926	65,926
建設仮勘定	503	135
有形固定資産合計	741,432	722,460
無形固定資産	44,234	42,665
投資その他の資産		
投資有価証券	28,333	26,344
繰延税金資産	1,918	1,953
その他	65,566	66,926
貸倒引当金	19,909	19,909
投資その他の資産合計	75,908	75,314
固定資産合計	861,574	840,440
資産合計	5,297,406	5,257,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	219,955	178,812
短期借入金	1,160,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	550,546	559,273
未払法人税等	12,064	3,339
役員賞与引当金	6,500	6,500
その他	110,885	117,242
流動負債合計	2,059,951	2,015,167
固定負債		
長期借入金	934,364	964,226
資産除去債務	69,641	69,944
その他	15,135	17,042
固定負債合計	1,019,141	1,051,212
負債合計	3,079,092	3,066,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	601,721	570,263
自己株式	384	384
株主資本合計	2,345,095	2,313,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,903	8,485
為替換算調整勘定	168,361	160,213
その他の包括利益累計額合計	177,265	168,699
少数株主持分	50,483	46,568
純資産合計	2,218,314	2,191,507
負債純資産合計	5,297,406	5,257,887

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,084,009	1,038,100
売上原価	647,738	750,490
売上総利益	436,270	287,609
販売費及び一般管理費	282,780	281,271
営業利益	153,490	6,337
営業外収益		
受取利息	256	275
為替差益	369	-
デリバティブ評価益	154	83
受取手数料	2,194	2,718
補助金収入	-	140
その他	821	2,164
営業外収益合計	3,797	5,382
営業外費用		
支払利息	9,408	8,210
たな卸資産廃棄損	3	2,156
為替差損	-	13,244
その他	2,021	1,846
営業外費用合計	11,433	25,457
経常利益又は経常損失( )	145,853	13,737
特別利益		
固定資産売却益	2,045	-
特別利益合計	2,045	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	2,499
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,309	-
特別損失合計	28,309	2,499
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	119,589	16,236
法人税、住民税及び事業税	12,301	2,866
法人税等調整額	67,903	7,594
法人税等合計	80,205	10,461
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	39,384	26,697
少数株主損失( )	8,870	3,823
四半期純利益又は四半期純損失( )	48,255	22,874

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	39,384	26,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,226	418
為替換算調整勘定	844	8,147
その他の包括利益合計	3,070	8,565
四半期包括利益	36,313	18,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,184	14,308
少数株主に係る四半期包括利益	8,870	3,823

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年9月1日  
至平成23年11月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	
減価償却費	19,479千円	減価償却費	20,983千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月25日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	942,013	141,996	1,084,009		1,084,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,460		7,460	7,460	
計	949,473	141,996	1,091,470	7,460	1,084,009
セグメント利益又は損 失( )	169,572	15,477	154,094	604	153,490

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 604千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年9月1日 至平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	807,242	230,857	1,038,100		1,038,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,164		14,164	14,164	
計	821,407	230,857	1,052,265	14,164	1,038,100
セグメント利益又は損 失( )	16,030	8,944	7,086	748	6,337

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 748千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	5,621円53銭	2,664円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	48,255	22,874
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	48,255	22,874
普通株式の期中平均株式数(株)	8,584	8,584

注1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年1月12日

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 近藤 敏博 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 家元 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテックプラズマテクノロジーの平成23年9月1日から平成24年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテックプラズマテクノロジー及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。